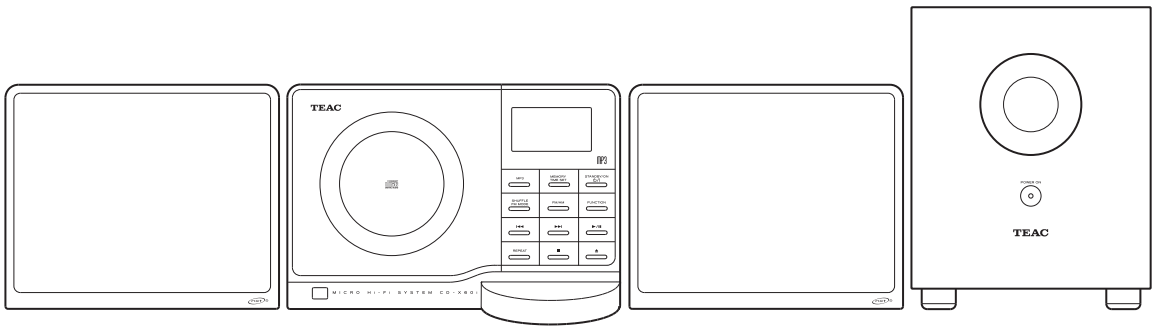
77-20CD60I00221

TEAC

取扱説明書

CD-X60i

iPod対応マイクロハイファイシステム



ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

Made for iPod

nxt®

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

目　次

お使いになる前に 2
安全にお使いいただくために 3
接続方法 6
壁に取り付けるには 8
リモコンの使い方 9
コンパクトディスクについて 10
MP3について 11
必ずお読みください・本機でiPodを使うには 11
各部の名称 12

基本操作 14

iPodを聴くには 16

CDまたはMP3のディスクを再生するには 18
シャッフル再生 21
プログラム再生 21
リピート再生 23

接続した機器の音を聴くには 24

ラジオを聴くには 25
放送局のプリセット 26

現在時刻の設定 27
タイマー設定 28

困ったときは 30
仕　様 32
保証とアフターサービス 35

NXT is a trademark of New Transducers Ltd.

iPod is a trademark of Apple, Inc., registered in the U.S. and other countries.
"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhoger IIS and Thomson.

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはティアック株式会社AVお客様相談室にご連絡ください。

リモコン(RC-1223)×1
リモコン用コイン型リチウム電池(CR2032)×1
ドックアダプタセット×3(注)
ステレオミニプラグケーブル×1
FMアンテナ×1
AMループアンテナ×1
コネクターカバー×１
壁掛け用ブラケット×4
ネジ(短)×8
木ネジ(長)×4
アンカープラグ×8
型紙×2
取扱説明書(保証書付き)×1
簡単接続ガイド×1

注：出荷時は60GB(color)+Photo 40GB/60GBがドックにセットされています。

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 本体のSTANDBY/ONスイッチがスタンバイのときは、待機電力が消費されます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** 煙が出たり、変なにおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 分解禁止	この機器のキャビネットは絶対に外さない。 キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。
 強制	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

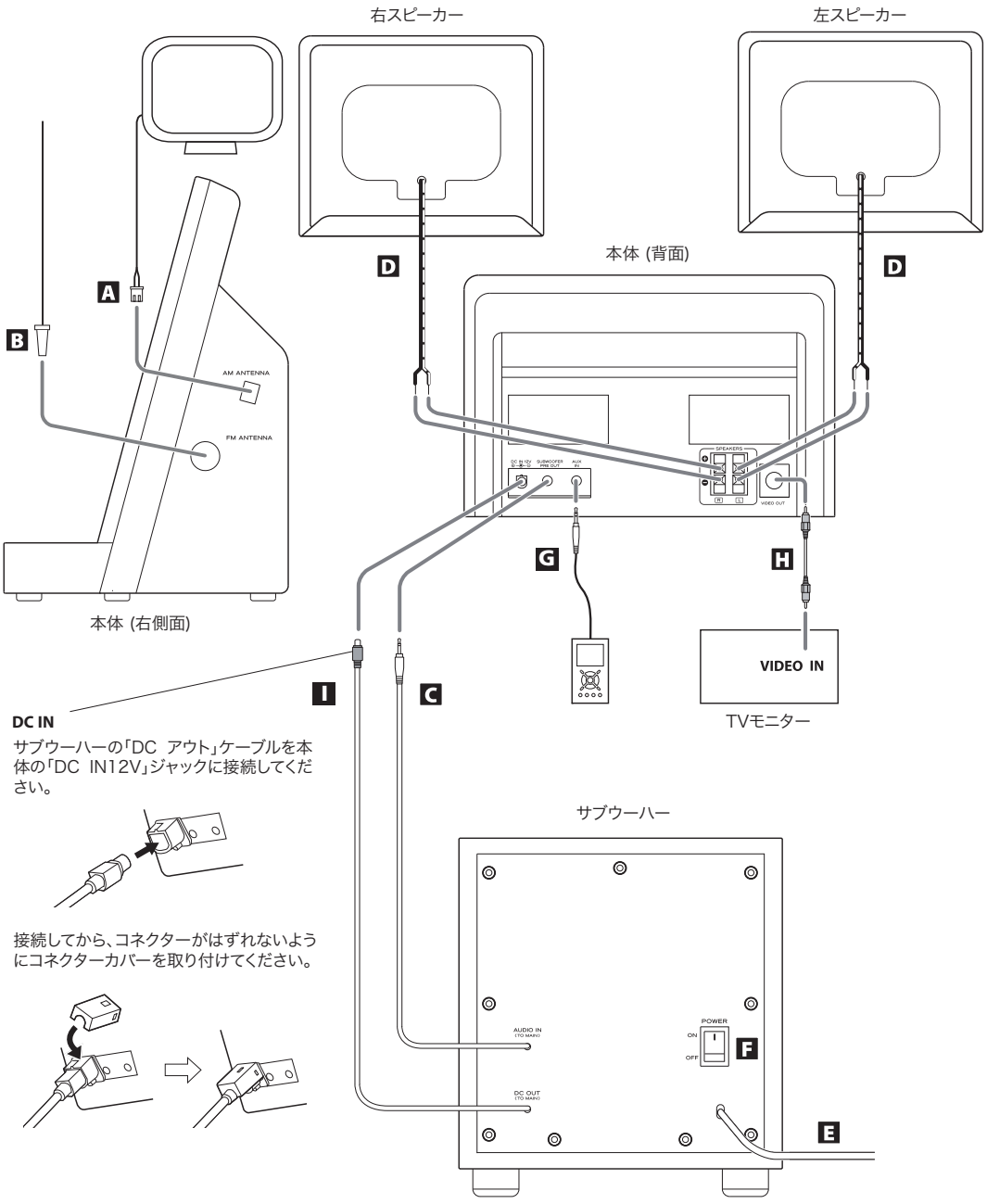
⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 強制	オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。 また、接続は指定のコードを使用する。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。 火災・感電やけがの原因となることがあります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 禁止	**電源コードを熱器具に近付けない。** コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
 電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

接続方法



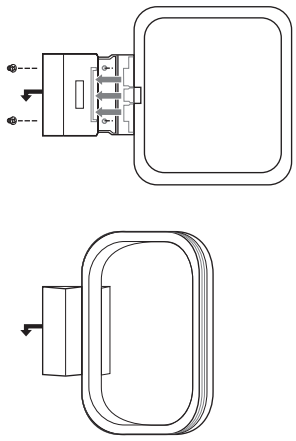
⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- 各プラグや端子はしっかりと接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

A AMループアンテナ

本体右側面のAM ANTENNA端子に付属のAMループアンテナを接続します。AM放送の受信中にこのアンテナを回して、受信状態が一番良い向きに置いてください。

市販の木ネジを使って壁に固定することもできます。



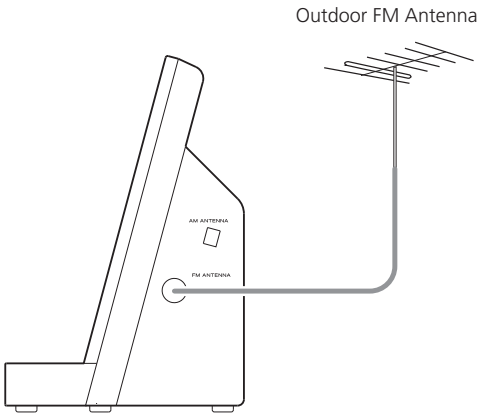
B FMアンテナ

FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置に画鋲やテープなどで固定してください。

- アンテナは束ねないでください。

FM屋外アンテナ

受信状態が悪いときは、市販の75Ω同軸ケーブルを使って、FM屋外アンテナに接続してください。



C サブウーハーケーブル

サブウーハーの裏側にあるAUDIO IN (TO MAIN)端子に付いているケーブルを、本体裏側の SUBWOOFER PRE OUT 端子に接続します。

D スピーカーケーブル

左のスピーカーのプラグをLに接続して、右のスピーカーのプラグをRに接続してください。
必ず白いワイヤを"+"端末へ接続し、黒いワイヤを"-"端末へ接続します。

- これらの端末への付属のスピーカー以外のものを接続しないでください。

E 電源プラグ

電源プラグを交流100Vの電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。ただし、サブウーハーの電源をオフにしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。

F 電源スイッチ

全体の電源のオン/オフを切り換えます。

サブウーハーの正面にある電源インジケーターは、本体がオンのときは青、本体がスタンバイ状態のときはオレンジ色に点灯します。
本体をスタンバイにするとサブウーハーも自動的にスタンバイ状態になり、インジケーターがオレンジ色になります。

- サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。時計・タイマー・放送局のプリセットを消去したくない場合は、サブウーハーの電源は常にオンにしておいてください。

G 音声入力端子[AUX IN]

携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子とこの音声入力端子を、付属のステレオミニプラグケーブルで接続すると、本機のスピーカーで音を聴くことができます。

H 映像出力端子[VIDEO OUT]

iPodの映像信号を出力します。
市販のコンポジットビデオケーブルを使って、テレビやモニターの映像入力端子と接続してください。

I DC IN

サブウーバーの裏側にある=OUT 端子に付きDC ケーブルのフラグを、本体裏側にの DC =IN 12 V のソケットに挿し込みます。

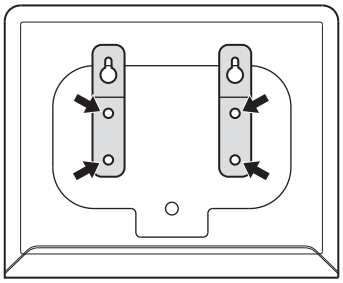
壁に取り付けるには

左右のスピーカーを壁に取り付けることができます。

⚠注意

- スピーカーケーブルの長さは約3mです。ケーブルが届く範囲でお使いください。
- 壁に取り付けると、スピーカーケーブル2本が壁に露出することになります。
- 機器が落下すると、けがや破損の原因になります。取り付ける壁面の強度には十分ご注意ください。ネジがゆるんでいないか、定期的に点検してください。
- 取り付けに不安がある場合は、お近くの工務店などにご依頼ください。

1. 付属のネジ(短)でスピーカーの背面にブラケットを取り付ける。



2. 取り付ける場所を決める。

3. 付属の型紙を壁に当てて、ピンやテープを使って仮留めする。

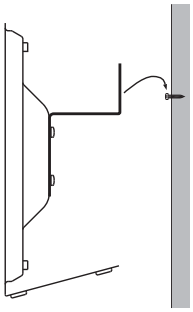
4. 穴を開ける位置に錐などを使って目印を付けてから、型紙を外す。

5. 付属の木ネジ(長)を目印を付けた位置ねじ込む。

木ネジのあたまが壁から5mm位出るようにしてください。
コンクリートの壁に取り付ける場合は、ドリル等で下穴(6mm)を開けて、付属の赤いプラグを埋め込んでから、木ネジをねじ込みます。

6. 本体、スピーカー、サブウーハーの接続が終わってから、スピーカーを壁にかける。

接続方法は、6ページを参照してください。



ブラケットの穴を、木ネジの頭にしっかりとはめ込んでください。

- ネジの頭がブラケットのネジ穴にしっかりはまっているか確認してください。

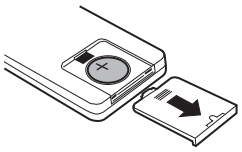
リモコンの使い方

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、コイン型リチウム電池(CR2032)1個を＋表示を上にして入れてから、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。

⚠電池についての注意(リモコンや本体のご使用)

電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 電池の+と-の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
- 電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

コンパクトディスクについて

本機では、以下のディスクを再生できます。

・ レーベル面またはジャケットに以下のロゴが印刷された音楽用CD(8cmまたは12cm)

・ 音楽CDフォーマットで記録し、正しい方法でファイナライズされたCD-RまたはCD-RW
(ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください)
・ MP3 CD

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

● CD-ROM、DVD、ビデオCDなどは再生できません。

● コピーコントロールCDやDualDiscなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

● ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトデイスクの録音/再生は片面だけです)

● ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　ディスクの持ち方

● 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。

● 信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。

● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。

● ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。

● 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

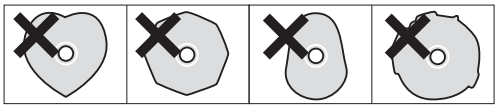
● レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● 市販の8cmCD用のアダプターは使用しないでください。故障の原因となります。

● ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



● CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

MP3について

本機は、CD-ROM、CD-RまたはCD-RWに記録されたMP3(MPEG-1 Audio Layer-3)のファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3のディスクを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。

- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。
- MP3ファイルの認識はファイル拡張子「.mp3」で行います。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」をつけていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。MP3を記録した機器でファイナライズしておいてください。
- 記録方式はISO9660互換にしてください。
- 200以上のファイルまたは50以上のフォルダーが記録されたディスクは、正常に再生できないことがあります。
- 本機は、サンプリング周波数8kHz～48kHz、ビットレート8kbps～320kbpsのMP3ファイルを再生できます。
- 可変ビットレートで記録されたディスクは、正常に再生できないことがあります。
- マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

iPodのドックコネクタを使って本機を使用する場合は、本機のドックにドックアダプタをセットしてください。

出荷時は、カラーディスプレイを搭載したiPod(60GB(color)+Photo 40GB/60GB)用のドックアダプタがセットされています。

それ以外のiPodを使用する場合は、以下の手順で適切なドックアダプタに交換してください。

必ずお読みください・本機でiPodを使うには

1. ドックアダプタを外す。

アダプタの左右をつかみ、ゆっくり引き抜きます。

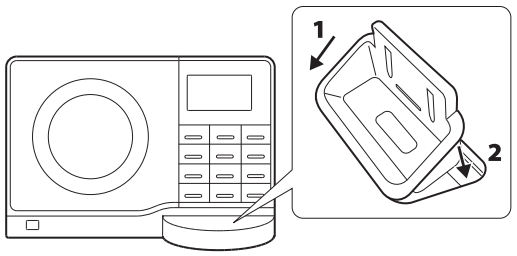
2. お使いのiPodに合ったドックアダプタを選ぶ。

- ドックコネクタとタッチホイールを装備したiPodを本機のドックに接続する場合は、市販のアダプタをお使いください。

  その他のiPodについては、iPodに付属のアダプタまたは市販のアダプタをお使いください。

3. ドックアダプタを本機のドックに取り付ける。

ドックアダプタの前面を取付用の穴に合わせて差し込み、アダプタの後方を「カチッ」と音がするまで押し込みます。



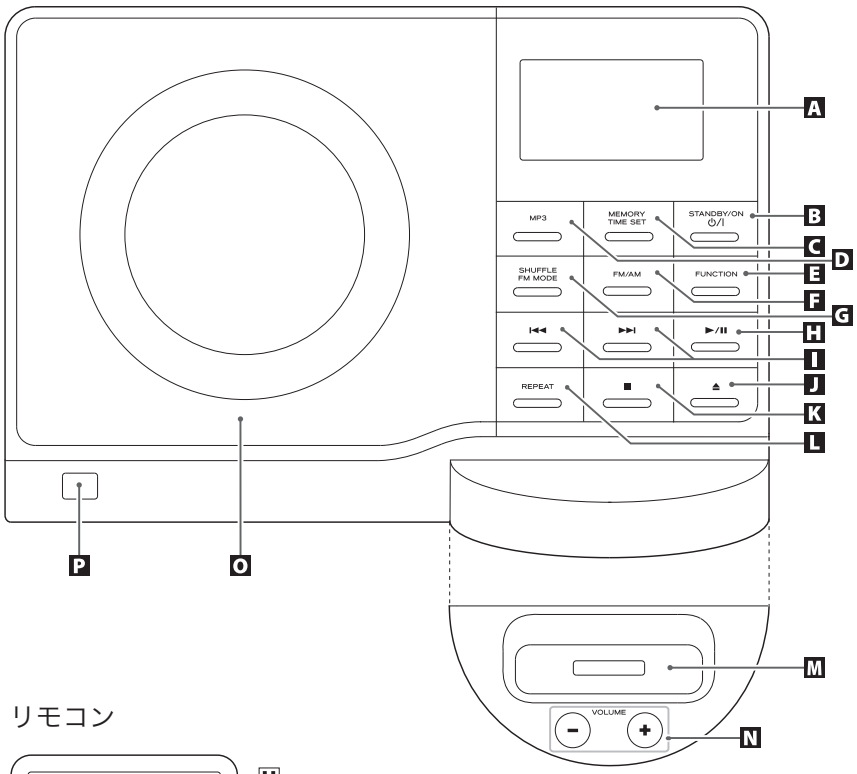
- ドックアダプタを外す場合は、左右をつかみゆっくりと引き抜いてください。

iPod用ソフトウェア

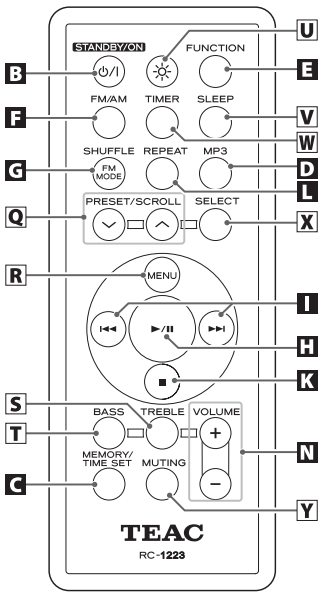
お使いのiPodが本機の操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

各部の名称

本体



リモコン



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では主に本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

本体とリモコン

A ディスプレー

再生時間、周波数など各種メッセージが表示されます。

B 電源ボタン[STANDBY/ON] (⏻)

サブウーハーの電源がオンのときに、本体の電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。

サブウーハーのインジケーターは、本体の電源がスタンバイ(オフ)のときはオレンジ色に点灯し、本体の電源がオンのときは青く点灯します。

C メモリー/時刻設定ボタン[MEMORY/TIME SET]

CDのときは、プログラム再生に使います。(21ページ)
TUNERのときは、放送局のプリセットに使います。(26ページ)
このボタンは時刻設定にも使います。(27ページ)

D MP3ボタン

MP3のディスクの再生中にMP3の情報をディスプレイに表示するのに使います。

E 機能切換ボタン[FUNCTION]

このボタンを押すたびに機能が切り換わります。
iPodを聴くときはiPod、CDまたはMP3のディスクを聴くときはCD、ラジオを聴くときはTUNER、音声入力端子(AUX IN)に接続した機器の音を聴くときはAUXを選んでください。(16、18、24、25ページ)

F FM/AMボタン

このボタンを押すたびにFMとAMが切り換わります。
(25ページ)

G シャッフルボタン[SHUFFLE]

Stereo/Mono の切り替えボタン[FM MODE]

iPodまたはCDのシャッフル再生に使います。(21ページ)
FM放送の受信中に、ステレオ受信/モノラル受信を切り替えます。(25ページ)

H 再生/一時停止ボタン(►/II)

iPodまたはCDを再生、または一時停止します。
(16、19ページ)

I スキップボタン

iPodまたはCDのときは、►►Iを押すと次の曲にスキップし、I◄◄を押すと前の曲にスキップします。再生中に►►Iを押したままでいると早送り、I◄◄を押したままでいると早戻しになります。(16、19ページ)
TUNERのときは、選局に使います。(25ページ)
電源がスタンバイのときは、時刻設定とタイマー設定に使います。(27、28ページ)

J 開閉ボタン(≜)

ディスクカバーを開閉します。(18ページ)このボタンは、CDのときしか動作しません。

K 停止ボタン(■)

CDの再生を停止します。(19ページ)
注意：iPodのときは、動作しません。

L リピートボタン[REPEAT]

iPodまたはCDのリピート再生に使います。(17ページ)

M ドック

適切なドックアダプタを差し込み、iPodをご使用ください。

N 音量ボタン[VOLUME]

音量を調節します。＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。(14ページ)

O ディスクカバー

CDのときに、開閉ボタン(≜)を押すとカバーが開閉します。(18ページ)
カバーを手で開閉しないでください。故障の原因になります。

P リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

リモコン

Q プリセット/スクロールボタン[PRESET/SCROLL]

TUNERのときは、プリセットした放送局の選択に使います。(26ページ)
iPodのときは、メニュー画面のスクロールに使います。(16ページ)
MP3のディスクの再生中には、フォルダの選択に使います。(20ページ)

R メニューボタン[MENU]

iPodのMENUボタンと同じ機能です。
iPodのときにこのボタンを押すと、ひとつ前のメニューを表示します。(16ページ)

S 高音調節ボタン[TREBLE]

このボタンを押してから音量ボタンを押すと、高音を調節することができます。(15ページ)

T 低音調節ボタン[BASS]

このボタンを押してから音量ボタンを押すと、低音を調節することができます。(15ページ)

U ディマーボタン[☼]

ディスプレーの明るさを調節します。(15ページ)

V スリープボタン[SLEEP]

スリープタイマーの設定に使います。(15ページ)

W タイマーボタン[TIMER]

タイマー設定に使います。(28ページ)

X 選択ボタン[SELECT]

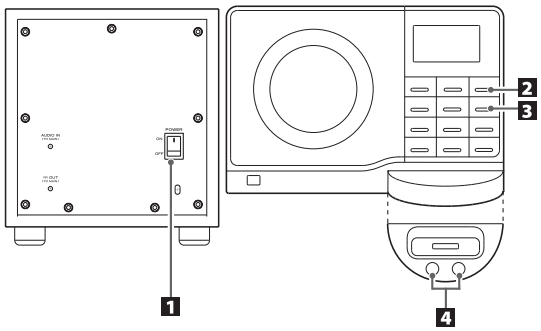
iPodの選択ボタンと同じ機能です。
iPodのメニュー項目の選択に使います。

Y 消音ボタン[MUTING]

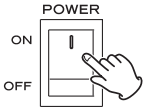
一時的に音を小さくします。(15ページ)

基本操作

(Rear panel of the subwoofer)

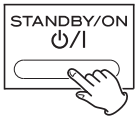


1 サブウーハーの電源スイッチ(POWER)をオンにする。



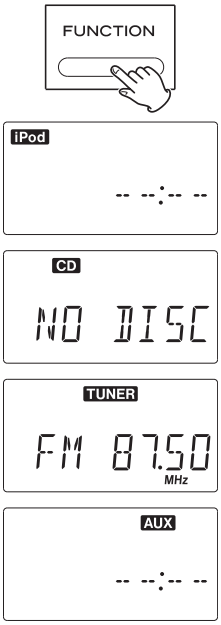
サブウーハーのインジケーターがオレンジ色に点灯します。

2 本体の電源ボタン(STANDBY/ON)を押す。



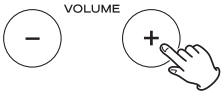
本体がオンになり、サブウーハーのインジケーターが青に変わります。

3 機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、聴きたい機能を選ぶ。



- 背面の音声入力端子に接続した機器の音声を聴きたいときは、AUXを選んでください。
- iPodまたはAUXを選んだ場合、ディスプレーには時計と音量が常に表示されます。
- CDまたはTUNERを選んだ場合、時刻設定ボタン(TIME SET)を2秒以上押すと、ディスプレーに時計が数秒間表示されます。

4 音量ボタンを押して音量を調節する。

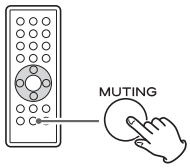


＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。

突然大きな音が出ると、聴覚障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

- 本機を使わないときは、本体の電源ボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイ状態にしてください。

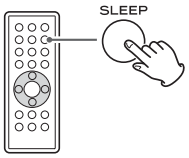
一時的に音を消すには（ミュート）

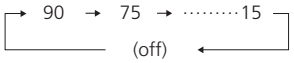


ミュートボタン(MUTING)を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ミュート中は、ディスプレーの音量の表示が点滅します。
- ミュート中に音量ボタンを押すと、ミュートは解除されます。

スリープタイマー

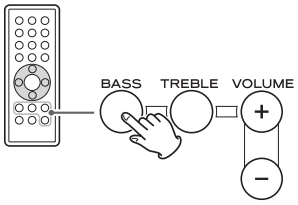




電源を一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする機能です。
スリープボタン(SLEEP)を押すたびに、時間が変わります。90分から15分まで、15分刻みで設定できます。

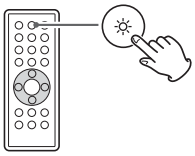
- スリープ中は、SLEEPインジケーターが点灯します。
- スリープ中にスリープボタン(SLEEP)を1回押すと、スリープするまでの残り時間が数秒間表示されます。
- スリープ機能が働いているときは、ディスプレーが暗く(ディマーオンの状態に)なります。

低音または高音を調節するには



低音を調節する場合は低音調節ボタン(BASS)、高音を調節する場合は高音調節ボタン(TREBLE)を押してから、5秒以内に音量ボタンを押してください。±4の範囲で調節できます。

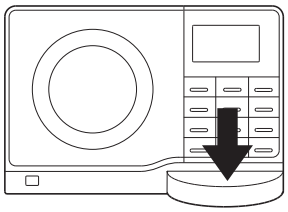
ディマー



ディスプレーの明るさを調節します。
ディマーボタン(☼)を押すとディスプレーが暗くなり、もう一度押すと元の明るさに戻ります。

iPodを聴くには

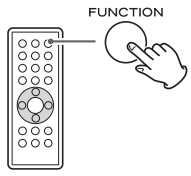
本機のドックにiPodをセットしてください。



iPodの再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、本機の電源が自動的にオンになり、再生を始めます。

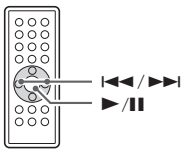
- 再生中のiPodをドックにセットした場合、本機の電源が自動的にオンになり、再生を始めます。
- お使いのiPodに合ったドックアダプタをセットしてからお使いください。(11ページ)
- 本機のドックにiPodをセットすると、本機の電源がオンの間は常にiPodを充電します。充電が完了すると、充電を停止します。スタンバイのときは充電されません。
- ヘッドホンがiPodに差し込まれている場合、本機とヘッドホンの両方から音がでます。
- 停止ボタン(■)はCD専用です。機能切換がiPodのときは、動作しません。

機能切換をiPodにするには



FUNCTIONボタンをくり返し押して、「iPod」を選んでください。ドックにiPodがセットされていた場合は、iPodの再生が始まります。

- iPodがセットされていない場合は、「iPod」のインジケーターが点滅します。



再生を一時停止するには

再生中に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと一時停止します。もう一度押すと、再生を始めます。

好きな曲から再生するには（スキップ）

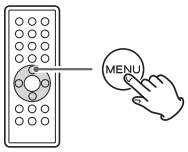
再生中にスキップボタン(►►I)を押すと次の曲にスキップし、スキップボタン(I◄◄)を押すと前の曲にスキップして再生します。希望する曲番になるまで、くり返し押してください。

- I◄◄を1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄を続けて押してください。

聴きたい部分を探すには（サーチ）

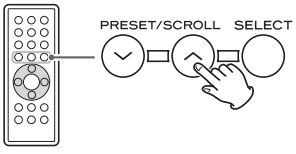
再生中にスキップボタン(►►I)を2秒以上押したままでいると早送り、スキップボタン(I◄◄)を2秒以上押したままでいると早戻しができます。
聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

前のメニューに戻るには



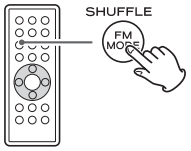
MENUボタンを押すと、ひとつ前のメニューを表示します。
iPodのMENUボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶには



スクロールボタン(SCROLL)を使って項目を選び、選択ボタン(SELECT)を押してください。

シャッフル再生



再生中リモコン、または本体のシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すたびに、iPod側のシャッフル再生のモードが変わります。

曲 → アルバム → オフ

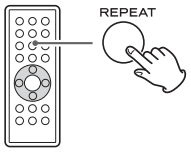
「曲」を選ぶと、選択したアルバムやプレイリストの曲をランダムに再生します。

「アルバム」を選ぶと、アルバムをランダムに選んで再生します。アルバムの中身は、順序通り再生します。

シャッフル再生中は、iPodのディスプレーに「⤮」が表示されます。

● 本体のシャッフルボタン(SHUFFLE)はCD専用です。機能切換がiPodのときは、動作しません。

リピート再生



再生中にリモコン、または本体のリピートボタン(REPEAT)を押すたびに、iPod側のリピート再生のモードが変わります。

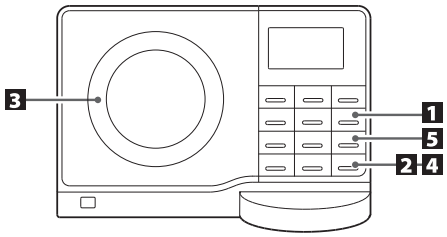
1曲 → すべて → オフ

1曲だけリピートするときは、「1曲」を選んでください。
iPodのディスプレーに「🔂」が表示されます。

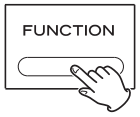
リスト内のすべての曲をリピートするときは、「すべて」を選んでください。
iPodのディスプレーに「🔁」が表示されます。

● 本体のリピートボタン(REPEAT)はCD専用です。機能切換がiPodのときは、動作しません。

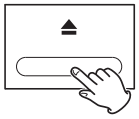
CDまたはMP3のディスクを再生するには



1 機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、CDを選ぶ。

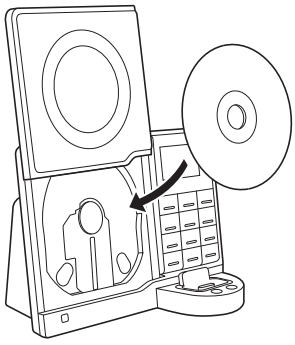


2 開閉ボタン(⏏)を押してカバーを開く。



● カバーを手で開閉しないでください。故障の原因になります。

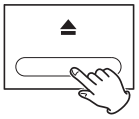
3 ディスクをセットする。



レーベル面を手前にして、ディスクの穴をポールにしっかりとはめ込んでください。

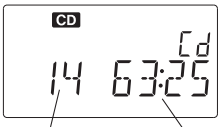
● 一度に複数枚のディスクを入れないでください。
● ディスクの装着時および交換時は、本体が倒れないように手で支えてください。
● 機器の内部やレンズに手を触れないでください。故障の原因になります。

4 開閉ボタン(⏏)を押してカバーを閉じる。



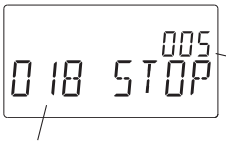
● ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。
● ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」が表示されます。

CDを読み込んだ場合



総曲数　　総再生時間

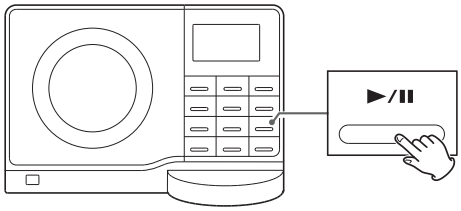
MP3のディスクを読み込んだ場合



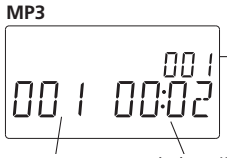
フォルダーの総数

総ファイル数

5 **再生/一時停止ボタン(►/II)を押す。**



再生中の曲番　再生中の曲の経過時間

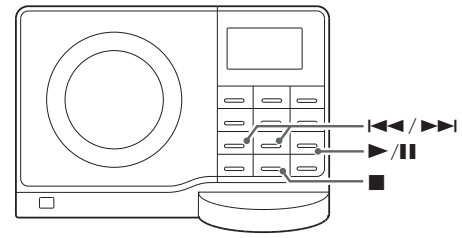


再生中の
フォルダー番号

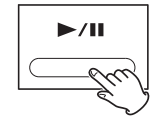
再生中のファイル　再生中の曲の経過時間

1曲目から再生が始まります。

- 全ての曲の再生が終わると、停止します。
- MP3のディスクのフォルダーに入っていないMP3ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられ、「ROOT」フォルダーの最初の曲から再生されます。

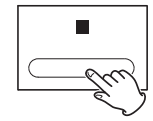


再生を一時停止するには



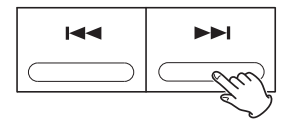
再生中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が一時停止します。もう一度押すと、再び再生を始めます。

再生を停止するには



停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

好きな曲から再生するには（スキップ）



再生中にスキップボタン(►►I)を押すと前の曲にスキップし、スキップボタン(I◄◄)を押すと後ろの曲にスキップして再生します。希望する曲番になるまで、くり返し押してください。
停止中は、I◄◄ または ►►I をくり返し押して希望の曲番を選んだあと、再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が始まります。

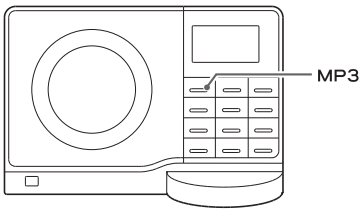
- 再生中は、.を1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより後ろの曲を再生したいときは、続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラム中の前の曲、または後ろの曲が再生されます。

CDまたはMP3のディスクを再生するには（続き）

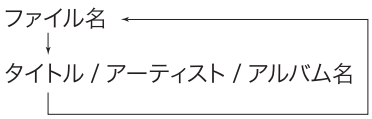
聴きたい部分を探すには（サーチ）

再生中にスキップボタン(►►I)を2秒以上押したままでいると早送り、スキップボタン(I◄◄)を2秒以上押したままでいると早戻しができます。
聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

MP3ファイルの情報を表示するには



MP3のディスクの再生中にMP3ボタンを押すと、再生中のファイルの情報がディスプレーに順番に表示されます。



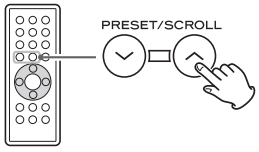
もう一度MP3ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。

- 該当する情報がないときは「NONE(なし)」が表示されます。
- 2バイト文字などが使われているためにファイル情報を読み取れないときは、「UNKNOWN(不明)」が表示されます。

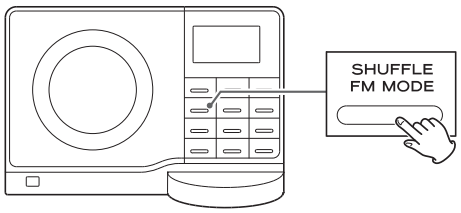
MP3のフォルダを選択するには

MP3フォルダーボタン(MP3 FOLDER)を押すと、前または後ろのフォルダーにスキップします。

停止中に押した場合は、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと再生が始まります。



シャッフル再生

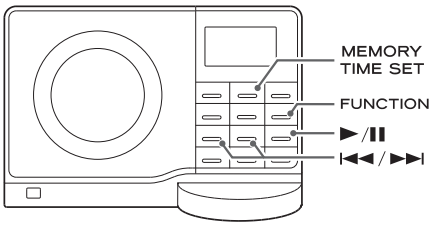


再生中または停止中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、ディスクの全曲をランダムに再生します。
シャッフル再生中は、SHUFFLEインジケーターが点灯します。

- シャッフル再生中にスキップボタン(►►I)を押すと、次の曲がランダムに選択されます。スキップボタン(I◄◄)を押すと、再生中の曲の頭に戻ります。シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。
- プログラム再生中はシャッフル再生できません。
- 以下のボタンを押した場合、シャッフル再生は解除されます。

  SHUFFLE、停止(■)、OPEN/CLOSE(⏏)、
  FUNCTION、FM/AM、STANDBY/ON

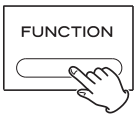
プログラム再生



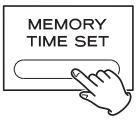
32曲までプログラムして再生することができます。

- プログラムする前に、ディスクをセットしておいてください。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

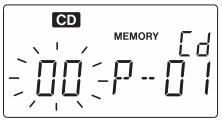
1 機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、CDを選ぶ。



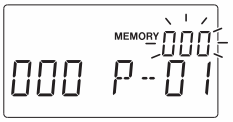
2 メモリーボタン(MEMORY)を押す。



CD

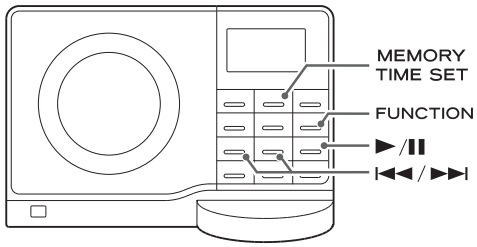


MP3

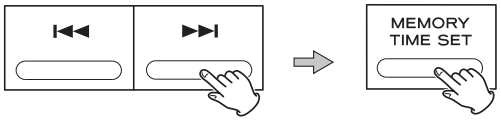


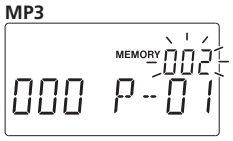
MEMORYインジケーターが点灯します。

- 再生中はプログラムできません。停止ボタン(■)で再生を停止してから、メモリーボタン(MEMORY)を押してください。
- プログラムを中止したいときは、停止ボタン(■)を押してください。



3 スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を使ってプログラムする曲番を選び、メモリーボタン(MEMORY)を押す。

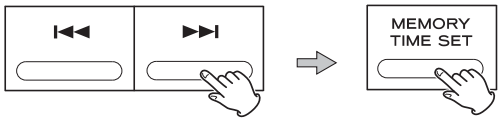


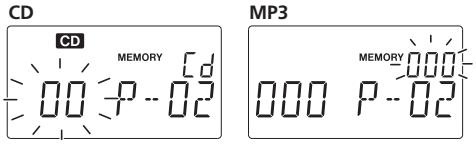


CDの場合は、この手順は関係ありませんのでに進んでください。

● フォルダーに入っていないMP3ファイルは、フォルダー番号「01」の中にあります。

4 スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を使ってプログラムする曲番を選び、メモリーボタン(MEMORY)を押す。





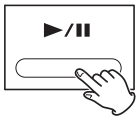
選んだ曲がプログラムされて、「P-02」(次のプログラム番号)が表示されます。

複数の曲をプログラムするときは、**3**～**4** をくり返してください。

● 32曲までプログラムできます。

5 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン(►/II)を押す。

プログラム再生が始まります。



● プログラムされた全ての曲の再生が終わった場合、または停止ボタン(■)を押した場合は、MEMORYインジケーターが消灯してプログラムモードが解除されます。

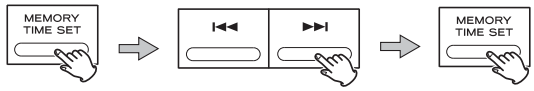
プログラムモードが解除されても、プログラムした内容は残っていますので、メモリーボタン(MEMORY)を押してから再生/一時停止ボタン(►/II)を押せばプログラム再生することができます。

プログラムの最後に曲を追加するには

停止中に、ディスプレーに「ー-」が表示されるまでメモリーボタン(MEMORY)をくり返し押してください。スキップボタン(I◄◄ / ►►I)で追加する曲番を選び、もう一度メモリーボタン(MEMORY)を押すと、プログラムの最後に曲が追加されます。

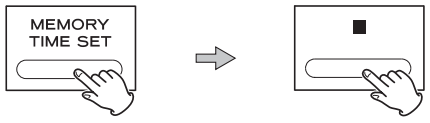
プログラムを変更するには

停止中に、変更したいプログラム番号と曲番が表示されるまでメモリーボタン(MEMORY)をくり返し押してください。スキップボタン(I◄◄ / ►►I)で新しい曲番を選び、もう一度メモリーボタン(MEMORY)を押すと、プログラムが上書きされます。



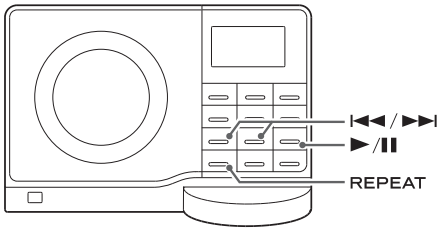
全てのプログラム内容を消去するには

停止中にメモリーボタン(MEMORY)を押してから停止ボタン(■)を押すと、プログラム内容は消去されます。



● 電源ボタン(POWER)、機能切換ボタン(FUNCTION)、FM/AMボタンまたは開閉ボタン(⏏)を押した場合も、プログラム内容は消去されます。
● 電源プラグを抜くと、プログラム内容は消去されます。

リピート再生



リピートボタン(REPEAT)を押すたびに、リピート再生のモードが変わります。

CDの場合

REPEAT（1曲リピート）
↓
REPEAT ALL（全曲リピート）
↓
オフ（通常の再生）

MP3の場合

REPEAT（1曲リピート）
↓
REPEAT ALBUM（フォルダーリピート）
↓
REPEAT ALL（全曲リピート）
↓
オフ（通常の再生）

● 以下のボタンを押した場合、リピート再生は解除されます。

停止(■)、OPEN/CLOSE(⏏)、FUNCTION、
FM/AM、STANDBY/ON

1曲リピート

再生中の曲をくり返し再生します。
リピート再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。

停止中は、リピートボタンを押してからスキップボタン(I◄◄ / ►►I)で曲を選び、再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、1曲リピート再生を始めます。

1曲リピート再生中は、REPEATインジケーターが点灯します。

フォルダーリピート(MP3のディスクのみ)

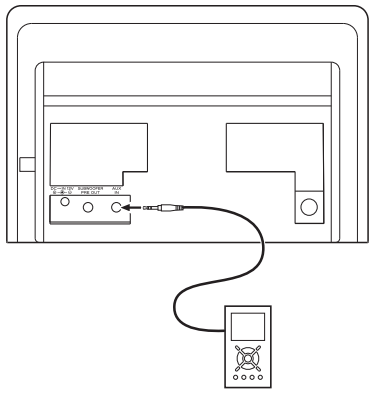
再生中のフォルダーの全曲をくり返し再生します。
フォルダーリピート再生中は、REPEAT ALBUMインジケーターが点灯します。

全曲リピート

ディスクの全曲をくり返し再生します。プログラム再生中は、プログラムした曲だけをくり返し再生します。
全曲リピート再生中は、REPEAT ALLインジケーターが点灯します。

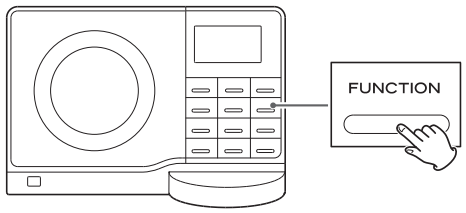
接続した機器の音を聴くには

1 携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と本機の音声入力端子(AUX IN)を、付属のステレオミニプラグケーブルで接続する。

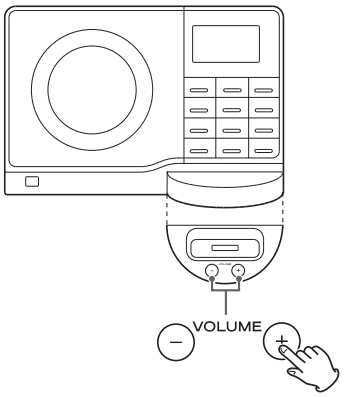


お使いのiPodにドックコネクタがない場合や、適切なドックアダプタがない場合は、この方法でiPodをお聴きください。

2 機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、AUXを選ぶ。



3 接続した機器で再生を始めて、音量ボタン(VOLUME)を押して音量を調節する。

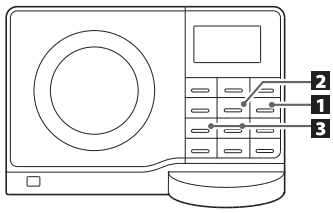


＋を押すと大きくなり、ーを押すと小さくなります。

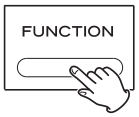
プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量も調節してください。ただし、プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがありますので注意してください。

音が歪む場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量ボタン(VOLUME)で適切な音量に調節してください。

ラジオを聴くには



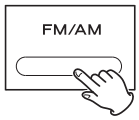
1 機能切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、TUNERを選ぶ。



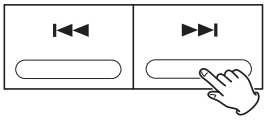
FM/AMボタンを使ってTUNERを選ぶこともできます。

2 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

FM/AMボタンを押すたびに、FMとAMが切り換わります。



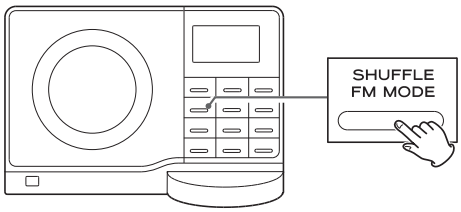
3 スキップボタンを使って聴きたい放送局を探す。



スキップボタン(I◄◄ または ►►I)を押して、ディスプレーの周波数表示が変わり始めたら指をはなしてください。
自動的に放送局を受信して周波数表示が止まります。
聴きたい放送局が受信されるまで、この操作をくり返してください。
中断したい場合は、スキップボタンを軽く押してください。

● スキップボタンを軽く押すと、AMは9kHz刻み、FMは100kHz刻みで周波数が変わります。自動で受信できない放送局を聴きたい場合は、聴きたい放送局が受信されるまでスキップボタンをくり返し押してください。

FMステレオ放送のステレオ受信/モノラル受信の切換



FMモードボタン(FM MODE)を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

ステレオ受信

FMのステレオ放送をステレオで受信します。
FMのステレオ放送を受信すると、ディスプレーのSTEREOインジケーターが点灯します。

モノラル受信

FMステレオ放送の受信状態が悪いときにこのモードを選ぶと、音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

受信状態が悪いときは

受信状態が悪いときは、FMアンテナまたはAMアンテナの向きを変えてみてください。

放送局のプリセット

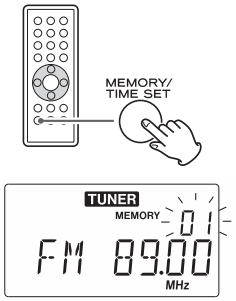
よく聴く放送局を、FM10局、AM10局まであらかじめ記憶(プリセット)しておくことができます。

● サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。

1 記憶させる放送局を受信する。

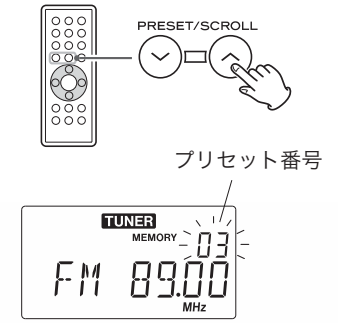
前ページの**1**～**3**の手順で受信してください。

2 メモリーボタン(MEMORY)を押す。

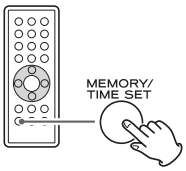


MEMORYインジケーターが点灯し、プリセット番号が点滅します。

3 5秒以内に、その放送局を記憶するプリット番号をリモコンのプリセットボタン(PRESET)で選ぶ。



4 5秒以内にメモリーボタン(MEMORY)を押す。

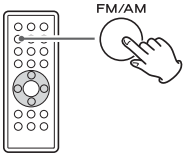


放送局が記憶されて、MEMORYインジケーターが消灯します。
複数の放送局を記憶させる場合は、**1**～**4**をくり返してください。

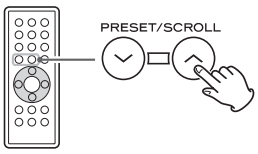
● 5秒以内に操作しないと、登録モードが解除されてMEMORYインジケーターが消灯します。その場合は**2**からやり直してください。

記憶した放送局を聴くには

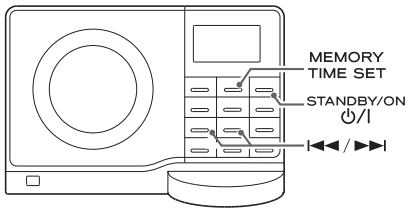
1. **FM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。**



2. **プリセットボタン(PRESET)を押して、記憶した放送局を選ぶ。**

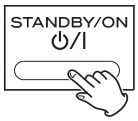


現在時刻の設定

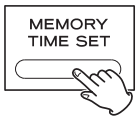


● サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。

1 **本体の電源がオンの場合は、電源ボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイ状態にする。**



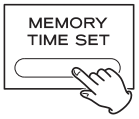
2 **時刻設定ボタン(TIME SET)を約2秒押す。**



「12 HOUR(12時間)」または「24 HOUR(24時間)」が点滅します。
12時間表示と24時間表示を切り換える場合は、スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押してください。

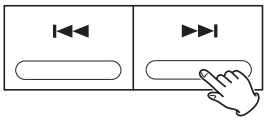
● 10秒以上放置すると、時刻設定モードは解除されます。2 からやり直してください。

3 **時刻設定ボタン(TIME SET)を押す。**

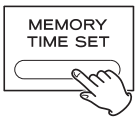


「時」表示が点滅します。

4 **スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押して「時」を合わせる。**

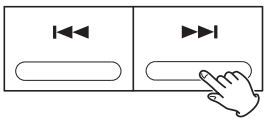


5 **時刻設定ボタン(TIME SET)を押す。**

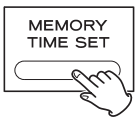


「分」表示が点滅します。

6 **スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押して「分」を合わせる。**



6 **時刻設定ボタン(TIME SET)を押す。**

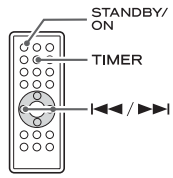


時計がスタートします。

タイマー設定

(P29へ続く)

設定した時刻に、本体の電源をオンにします。



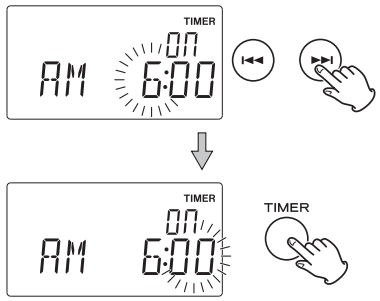
- タイマーを設定する前に、時刻を設定してください。(27ページ)
- サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。

1 タイマーボタン(TIMER)を約2秒押して、表示が変わったら指をはなす。

TIMERインジケーターが点灯し、ONインジケーターと「時」表示が点滅します。

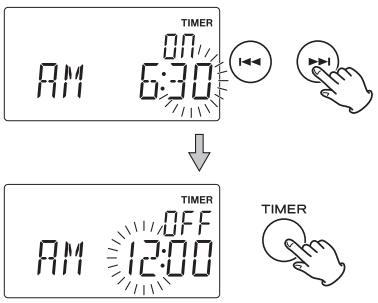
- 7秒以上放置すると、タイマー設定モードは解除されます。その場合は1 からやり直してください。

2 スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押して開始時刻(時)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



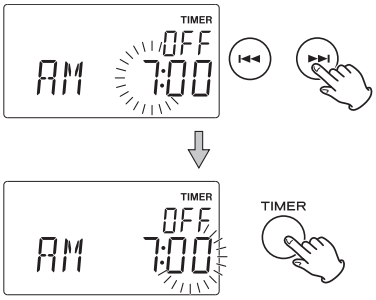
「分」表示が点滅します。

3 スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押して開始時刻(分)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



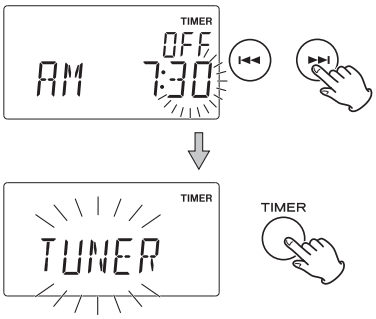
TIMERインジケーターとOFFインジケーターが点灯し、「時」表示が点滅します。

4 スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押して終了時刻(時)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。

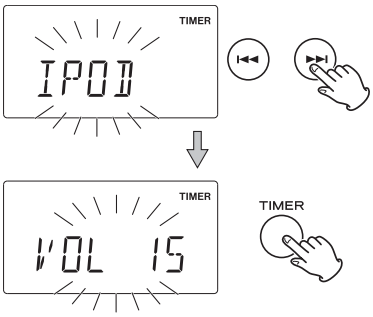


「分」表示が点滅します。

5 スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押して終了時刻(分)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。

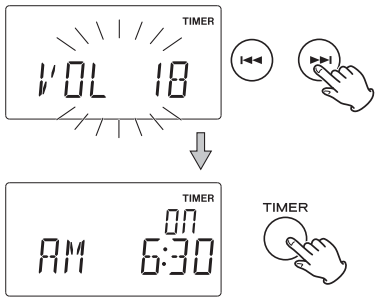


6 スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押してタイマー再生する機能(ｉＰｏｄ、CD、またはTUNER)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



タイマー設定(続き)

7 スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押してタイマー再生の音量を調節し、タイマーボタン(TIMER)を押す。

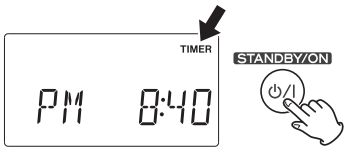


タイマー設定が終了し、設定した内容が順番に表示されます。

8 iPod、CDまたはラジオの準備をする。

6でiPodを選んだ場合は、iPodをセットしてください。
6でCDを選んだ場合は、ディスクをセットしてください。
6でTUNERを選んだ場合は、放送局を受信してください。

9 本体の電源がオンの場合は、電源ボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイ状態にする。

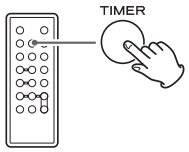


TIMERインジケーターと時刻が表示されます。
設定した開始時刻になると、電源がオンになりタイマー再生を始めます。終了時刻になるとスタンバイ状態に戻ります。

設定した開始時刻より前に手動で電源をオンにした場合、タイマーは機能しません。

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。
- タイマー動作時の音量は、小さい音で始まり、徐々に大きくなって29ページの**7**で設定した音量になります。
- **6**でiPodを選んだのにタイマーの開始時刻にiPodがセットされていなかった場合、または、**6**でCDを選んだのにディスクがセットされていなかった場合、本機はラジオを受信します。
- **6**でTUNERを選んだ場合、本機は電源を切る前に受信していた放送局を受信します。

タイマー機能のオン/オフ



タイマーボタン(TIMER)を軽く押すたびに、タイマーのオンとオフが切り換わります。タイマーをオンにすると、設定内容が順番に表示され、TIMERインジケーターが点灯します。

タイマーを使わないときは、タイマーボタン(TIMER)を軽く押してオフにしてください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
➡ サブウーハーと本体の電源をオンにしてください。

音が出ない。

➡ 機能切換ボタン(FUNCTION)を押して、聴きたい機能を選んでください。
➡ スピーカーの接続を確認してください。
➡ 音量ボタンを押して音量を調節してください。
➡ ヘッドホンの使用中はスピーカーからは音が出ません。ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
➡ ディスプレーにMUTINGの表示が点滅している場合は、ミュートボタン(MUTING)を押してミュートを解除してください。

リモコンで操作できない。

➡ 電源ボタン(STANDBY/ON)を押して、電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
➡ 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。

テレビなどが誤動作する。

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

雑音がする。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

iPod

iPodを本体にセットできない。

➡ お使いのiPodに合ったドックアダプタを本体にセットしてください。
➡ 本体とiPodのコネクタ部分からほこりやゴミを取り除いてください。

再生できない。

➡ iPodをいったん本体から外し、数秒経ってからもう一度セットしてみてください。
➡ iPodのホールドスイッチを解除してください。
➡ 最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

CD/MP3

音飛びがする。

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたディスクは使わないでください。再生できない。
➡ レーベル面を手前にして、ディスクの穴をポールにしっかりとはめ込んでください(10ページ)。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音済みのディスクを入れてください。
➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは再生できません。また、ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。

➡ スキップボタンを押して放送を受信してください。
➡ 受信状態が悪いときは、FMアンテナまたはAMアンテナの向きを変えてみてください。

FMステレオ放送なのにモノラルになる。

➡ FMモードボタン(FM MODE)を押すて「ステレオ受信」に切り換えてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

サブウーハーの電源をオフにしたり、停電などで電気が途絶えると、時計・タイマー・放送局のプリセットは消去されます。

本機のドックにiPodを接続して使用する場合のご注意

iPodのビデオ出力について
本機のドックからiPodのビデオを出力するには、接続するiPodのメニューで以下の設定を行ってください。

「ビデオ」-「ビデオ設定」-「TV出力」
で「オン」または「確認」を選んでください。

「確認」を選んだ場合は、再生の度にビデオ出力するかどうかを選びます。
iPodからビデオ出力すると、iPodの液晶画面ではビデオを再生しません。

iPod touchにはこのメニューはありません。再生の度にビデオ出力するかどうか選びます。

タイマーでiPod touchを使用する場合
iPod touchで「電源をオフ」にすると、本機のドックにiPod touchを接続してもタイマーでオンにできません。
タイマーでiPod touchを使用する場合は、iPod touchの「電源をオフ」にしないでください。(画面のオフなどは問題ありません)

iPod touchでビデオの選択画面になっていると、本機のドックにiPod touchを接続してもタイマーでオンにできません。
タイマーでiPod touchを使用する場合は、ビデオ以外を選択するようにしてください。

お手入れ

表面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、表面を傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

アンプ部

トータル出力. . . . . .20 W
入力感度. . . . . 300 mV
周波数特性. . . . . .50 Hz～20 kHz

FMチューナー部

受信周波数 . . . . . .76 to 90 MHz
感度(S/N 30dB) . . . . . .25 dBμV/m

AMチューナー部

受信周波数 . . . . . 531 kHz～1629 kHz
感度(S/N 20dB) . . . . . .54 dBμV/m

CDプレーヤー部

周波数特性. . . . . .20 Hz～20 kHz(±1dB)
S/N比. . . . . .55 dB
ワウ・フラッター. . . . . .測定限界値以下

スピーカー部

ユニット. . . . . フルレンジフラットタイプ
インピーダンス. . . . . 4 Ω

サブウーハー部

インピーダンス. . . . . 6 Ω

一般

電源 . . . . . .100 V AC, 50～60 Hz
消費電力 . . . . . 30 W
外形寸法(幅×高さ×奥行、突起部を含む)
　本体. . . . . 255 x 169 x 144 mm
　スピーカー. . . . . 各210 x 169 x 81 mm
　サブウーハー. . . . . 170 x 195 x 240 mm

質量

本体 . . . . . 1.4 kg
スピーカー. . . . . 各0.7 kg
サブウーハー. . . . . 4.0 kg

付属品

リモコン(RC-1223)×1
リモコン用コイン型リチウム電池(CR2032)×1
ドックアダプタセット×3(注)
ステレオミニプラグケーブル×1
FMアンテナ×1
AMループアンテナ×1
壁掛け用ブラケット×4
ネジ(短)×8
木ネジ(長)×4
コネクターカバー×1
アンカープラグ×4
型紙×2
取扱説明書(保証書付き)×1
簡単接続ガイド×1

注：出荷時は60GB(color)+Photo 40GB/60GBがドックにセットされています。

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

24ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ずバックアップ電池を外し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CD-X60i
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

保 証 書

品名および型名	iPod対応マイクロハイファイシステム CD-X60i	
機番		
保証期間	本体	1 年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載の弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	電話 ( )

販売店	所在地・名称(印) 電話 ( )

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社サービス部門にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせは
AVお客様相談室までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。
AVお客様相談室
0570-000-701
ナビダイヤル 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
〒206-8530 東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

● ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。

故障・修理や保守についてのお問い合わせは
ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。
ティアック修理センター
0570-000-501
ナビダイヤル 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

● 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。